## 2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

**■学修領域（教育分野）**

①情報技術
②ロボット制御
③生体システム

**■カリキュラム編成の基本方針**

人間とロボットが共存する暮らしを支える情報システムの設計・開発・運用に携わる技術者を育成するために、本学科では、情報技術、ロボット制御、生体システムの実践的な知識と技術を修得する。そのために、専門科目の理解に必要な数学・物理・専門科目の基本的素養を２年次までの必修科目で身につける。そして、３年次以降は学生が志向する専門分野やキャリア形成に必要な科目を選択して履修し、卒業研究を通してこれらの応用力を身につける。

**■年次別科目の配当方針**

１年次には、専門科目を理解する上で必要な数学的素養を身に付ける。また、情報技術者として必要な資質・素養としてチームコミュニケーションと問題解決のスキルを学ぶ他、機械システム・生体システムの概念、およびプログラミング技術の基本的素養を身につける。

２年次には、ロボット工学の基本的な考え方と生体情報の計測手法を学ぶ。また、情報技術の今日までの発展の経緯とこれからの社会作りに求められる情報技術者の役割と責任を認識する。さらに、実験でのグループワークを通して、講義で学び得た知識の活用方法を身につける。

３年次には、PBL（プロジェクトベース学修）科目にてチームで問題を解決する他、コミュニケーション能力を育成する。また、研究室に配属し、実験テーマやキャリア形成に必要な専門知識を身につける。

４年次の卒業研究では、問題解決に向けた研究手法を創意工夫し、課題発見能力、問題解決能力、論理的な記述能力、口頭発表能力、質疑応答力を養成する。

**■学修成果の評価の在り方**

各授業科目の学習内容、到達目標、成績評価の方法や基準はシラバスにより学生に周知し、これらに則して厳正に評価する。

第２学年および第３学年の終了時にそれぞれ進級判定を行う。

４年修了時には卒業論文を提出し、卒業研究の発表内容について複数の教員で評価し、ディプロマ・ポリシーの各項目の習得と達成度を総合的に評価することにより卒業判定を行う。